

平成23年度 第9回 全国環境連 全国大会

まちにひとに健全な水循環を！



2011. 10. 28 **Fri**

ホテル ニュータナカ

(山口県山口市湯田温泉2-6-24)

Tel 083-923-1313

主催／全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

後援／環境省・山口県・山口市・山口県市長会・山口県町村会

協賛／財団法人 日本環境整備教育センター・社団法人 全国浄化槽団体連合会

全国浄化槽推進市町村協議会・社団法人 山口県浄化槽協会

山口県合併処理浄化槽普及促進協議会

担当／全国環境連中国地区協議会 (山口県環境整備事業協同組合)



第9回全国環境連全国大会の開催にあたって

本日、ここに第9回全国環境連全国大会を開催いたしましたところ、ご多忙の中にも拘わりませず、環境省はじめ国会議員の先生方、また、山口県・山口市など多くの行政や議会、そして業界関係機関・団体など多くの皆様のご臨席のもと、全国各地から業を同じくする仲間が一堂に会し、盛大に開催されますことは誠に意義深く、厚く御礼申し上げます。

また、平素より全国環境連の活動に多大のご支援、ご指導をいただき、重ねて御礼申し上げます。

この度の東日本大震災において、不幸にも亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、7ヶ月を過ぎた今日、未だ苦勞なさっている罹災者の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

平成7年の阪神大震災、そして、今回の震災から、我々が得た貴重な教訓は、我々の存在が単に、市町村の固有事務の代行者であるだけでなく、地元住民の重要なライフラインそのものであるということを感じさせられたことです。

「ようおいでました 山口へ！ありがとうございます。」

山口県は穏やかな瀬戸内海、荒々しい日本海など三方を海に面し、その異なる表情と海の幸に恵まれています。また、当湯田温泉は、白い狐が見つけた美肌の湯でも知られ、足湯も5か所にあります。日ごろの疲れをどうぞ癒して下さい。

さて、我が業界を取り巻く環境は、国や自治体の厳しい財政状況や少子高齢化が進展する中で、依然として厳しい状況にあり、生活排水処理において、これまでの役割分担型から地域に応じた連携型への必要性また、将来の人口変動に対応しやすく、若者にツケを残さない施設の整備等全国環境連の果たす役割はますます重要となっております。

全国大会の「テーマ」も「循環型社会へ新たなスクラム」からはじまり「循環型社会への挑戦」、「創造」、「イノベーション（技術革新）」を経て「浄化槽が拓く循環型社会づくり」となり今回の「まちにひとに健全な水循環を！」に至っております。浄化槽がこのように限りある水資源の確保の重要性を担っていることについて、人々に認識していただくためにも、健全な水循環の諸施策、財源確保等について強く働きかけていかなければならないと思います。

「客よし、店よし、世間よし」の理念、即ち、企業の社会的責任（CSR）の視点から健全な判断力、即ち良識を以って、我々業界が一致団結して、地域の公衆衛生の向上や公共用水域の保全に取り組み、豊かな生活環境の確保に貢献してゆかねばならないと思います。

本日、ご臨席を賜りました多くの関係者の皆様方の更なるご支援、ご指導が必要となりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後にこの大会を契機に、連合会の当初の基本理念を再確認していただき、一層の団結と協調を期待してあいさついたします。

平成23年10月28日

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長 鳥越 澄夫
山口県環境整備事業協同組合
理事長 武市 美登

祝 辞



自民党選挙対策局長
環境整備議員連盟会長

衆議院議員 河村 建夫

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会第9回全国大会がわが故郷・長州は県都・山口市で開催されますことはこの上ない喜びであり、ご盛会を心よりお慶び申し上げます。

わが国はいま国難ともいふべき東日本大震災からの復興に全国民挙げて全力を傾注しております。全国環境連の皆様が日頃から力を注いでおられる良質な水環境の確保と生活環境の保全是被災地の方々が最も強く切望する所です。菅政権の拙劣な対応もあって大津波の残した瓦礫の山の処理すらままならぬ現地の状況をつぶさに視察して参りましたが、その折、脳裏をよぎったのは全国環境連の皆様が日夜、ご苦勞を重ねておられる一般廃棄物の処理でした。今、復興の先頭に立って来られた皆様方と共に「がんばれ東北、がんばれ日本！」を旗印に、誠心誠意努めて参る所存です。

私共自民党は一昨年の中選挙区総選挙で敗北を喫し、政権交代を余儀なくされましたが、民主党の鳩山、菅両政権共に内政、外交に失政を重ね、昨夏の参院選では有権者の温かいご支持をいただき自民党は勝利することができました。自前の政権奪還の足掛かりは築き得たと確信致しております。

民主党も真剣に反省し、わが自民党の要求を入れてマニフェスト（政権公約）を見直し、子ども手当などばらまき政策の是正に乗り出しました。私共も東日本大震災の復興、日本の再生を最重要の目標とし、政権を批判し、その政策に反対のための反対をするのではなく、常に有権者の目線に立って是々非々主義で臨む決意です。

ポスト菅政権はこれまで以上にわが党の要請に応えることとなりましょうが、先進国の中でリーマンショックによる不況から脱出できない唯一といってよい日本経済の現況から「コンクリートから人へ」という物づくりの基本を破壊するスローガンは何としても改善してもらわねばと思考しております。今回の全国大会の「まちにひとに健全な水循環を！」とのテーマを順調な軌道に乗せるためにも人もコンクリートも共に大切に作る政策を欠かすことはできないからです。

わが自民党が「もったいない」の心を生かし、先進的循環型社会を達成すべく廃棄物の発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の「3R」を鋭意、推進しておりますことは昨今、ようやく周知されて参りましたが、先導役を務めていただいているのは全国環境連の皆様です。

地震大国日本の怖さは東日本大震災で私共一人ひとりが改めて厳しく認識したところです。地震に対して圧倒的な強さを誇る浄化槽に絶えず技術革新の手を加え、清潔な水づくりを通じて豊かな自然環境を実現し、健全な地域社会に貢献する姿には常に敬愛の念を抱いております。全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の今後益々のご発展と会員の皆様、ご家族のご健康を心より祈念してお祝いのご挨拶と致します。

祝 辞



環境省大臣官房

廃棄物・リサイクル対策部

部長 伊藤 哲夫

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会第9回全国大会の開催を、心よりお慶び申し上げます。

はじめに、東日本大震災で亡くなられた方々、御家族や関係者の皆様方には、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

環境連の皆様におかれましては、日々、一般廃棄物の処理及び浄化槽の清掃など生活環境の保全、公衆衛生の向上に御尽力されるとともに、廃棄物・リサイクル行政の推進に格段の御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

また、この度の震災では、多数の方が避難を余儀なくされ、市町村自体が被災するなど被災地は深刻な状況となりました。環境連の皆様には、環境省災害廃棄物対策特別本部の要請に応じ、現地でのし尿収集について早期にご対応いただいたところであり、復旧・復興への多大なる御支援につきまして改めて深く感謝申し上げます次第であります。

被災地においては、住民が生活している場所の近くの災害廃棄物を8月末までに、福島県内の警戒区域を除く全ての市町村で仮置場へ概ね搬入するなど、災害廃棄物の処理が着実に進んでおり、環境省では、一日も早い被災地の復興に向け迅速かつ円滑に災害廃棄物処理が進むよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、我が国では、浄化槽や下水道等の整備により、平成21年度現在で、人口の約86%の生活排水が適正に処理され、衛生的で快適な生活の確保や河川、湖沼等の公共用水域の水質保全に寄与してきたところです。その一方で、人口の約14%の方々は、未だに生活排水処理の恩恵を受けられない状況にあることも事実であります。

今後、生活排水処理サービスを受けていない1千8百万人もの方々に一日も早くサービスを提供するためには、下水道と遜色ない処理水質と快適性が確保でき、特に人口が分散している地域においては浄化槽が果たすべき役割は一層重要となっております。

環境省では、生活排水を処理できない単独処理浄化槽から合併処理浄化槽の転換を促進するため、今年度予算で単独処理浄化槽の撤去費用の助成対象要件を拡大したところであり、今後とも、廃棄物の適正処理と浄化槽の整備・管理のための取り組みを一層推進してまいりますので、皆様方におかれましても、適切な浄化槽整備、し尿処理を通じ地域の水環境の保全に今後とも一層取り組んでいただくとともに、環境行政への御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般廃棄物の処理及び浄化槽事業の分野で貴連合会並びに会員の皆様の今後益々の御発展と御健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



山口県知事 二井 関 成

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の第9回全国大会が、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から山口県にお越しになった皆様を心から歓迎いたします。貴連合会会員の皆様におかれましては、平素から浄化槽の維持管理や一般廃棄物処理を通じて生活環境の向上や水環境の保全に多大な貢献をいただいておりますことに深く敬意と謝意を表します。

「環境の世紀」、「水の世紀」と言われる今日、将来に向けて、環境への負荷の少ない持続的で、安心・安全な社会を実現していくことが私たちに強く求められています。

こうした中、山口県では、「住み良さ日本一の元気県づくり」を目指して、本県の多様な地域資源や産業特性を活かした施策に取り組んでおり、特に、県民の皆様の生活に身近なテーマとして、「ごみ焼却灰のセメント原料化」を始め、「レジ袋無料配布の中止」や「食品ロスの削減」などを進めているところです。

また、生活排水対策につきましても、河川や湖沼などの清らかな水環境を保全するとともに、快適な生活環境の確保を図るため、「山口県污水处理施設整備構想」を策定し、市町との連携のもと、公共下水道や浄化槽などの生活排水処理施設の整備を計画的に促進しているところです。

中でも、浄化槽は、短時間かつ比較的少ない費用で整備ができるだけでなく、地震などの災害にも強いことから、中山間地域が約7割を占める本県においては効率的な污水处理システムであり、その設置について積極的に支援しているところです。

今後とも、貴連合会をはじめとする関係の皆様と連携して、浄化槽の適切な維持管理の確保等を図り、健全な水循環や快適な居住環境を次の世代へ、しっかりと継承していきたいと考えておりますので、皆様方におかれましても、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本県では、今月、「たちあがれ！東北 がんばろう！日本」の合言葉のもと、被災地や全国の皆さんに、勇気と希望、そして元気を送る大会として「おいでませ山口国体・山口大会」を開催し、24日、盛会のうちに終えることができました。

本大会が成功を収めましたのも、皆様方の御支援、御協力の賜であります。

また、「年間観光客3千万人構想」の実現に向けて、7月から「おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーン」のプレキャンペーンをスタートいたしました。

せっかくの機会ですので、山口県の豊かな自然、歴史、文化等に触れていただき、秋真っ盛りのやまぐちの味も堪能していただければ幸いです。

最後に、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



山口市長 渡 辺 純 忠

第9回全国環境連全国大会が、盛会に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から山口市にお越しになった皆様に19万市民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会会員の皆様におかれましては、日頃から適正な廃棄物の処理を通じて、河川の水環境の改善や快適な生活環境の向上に多大な御貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、山口市におきましては、身近な自然環境から地球規模の環境まで、今日の環境問題に対応し、今後の環境行政を総合的且つ計画的に進めるため「山口市環境基本条例」を制定し、また、市民、事業者及び民間団体、行政の協働による行動指針と施策を示した「山口市環境基本計画」に基づき、良好な環境の保全と創造の実現を目指して環境問題への取り組みを進めております。

こうした中で、生活雑排水やし尿等による水質汚濁を防止するため、山口市では、公共下水道の整備を推進するとともに、農村集落では農業集落排水事業を推進しております。また、それらが整備できない公共下水道等の未普及地域においては、合併浄化槽の設置を促進しており、合併浄化槽を生活排水対策の有効な手段として捉え、戸別の浄化槽整備設置補助制度も設けておるところでございます。

水は人々に潤いと豊かさを与え、快適環境づくりには欠かせない重要な要素の一つです。良好な水環境の実現は、全ての地域において、それぞれの地域の特性に合った排水処理施設が整って、初めて得られるものですので、今後とも、一層の普及促進に皆様の御協力をお願い申し上げます。

山口市は、国宝瑠璃光寺をはじめ、常栄寺雪舟庭、山口ザビエル記念聖堂など、多くの歴史的遺産を有しており、さらには、山陽路随一の湯量を誇る湯田温泉など、観光地としての魅力も備えたまちでございます。遠来の皆様におかれましては、是非、この機会に、山口市の歴史と文化に触れていただきますとともに、温泉におつかりになり、日頃の疲れを癒していただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催に御尽力を賜りました関係各位に感謝を申し上げますとともに、貴連合会と会員の皆様の、今後益々の御発展とご健勝を祈念申し上げます、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



財団法人 日本環境整備教育センター

理事長 入山 文郎

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会第9回全国大会が、「まちにひとに健全な水循環を！」をテーマに、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、優良役員・従業員表彰の栄に浴された方々に心よりお慶び申し上げます。

貴連合会会員の皆様が、一般廃棄物の適正処理、3Rの推進と循環型社会の実現を目指し、わが国の良質な水環境の確保と公衆衛生の向上に大きく貢献しておられますことに、深く敬意を表する次第です。

また、私ども日本環境整備教育センターの事業推進に対しまして、常日頃より格別なるご協力、ご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

浄化槽法が制定されてから四半世紀以上が経過した今日、浄化槽は、恒久的な生活排水処理施設として位置付けられ、国際的にも分散型の汚水処理技術が求められております。日本の優れた技術である浄化槽の普及は、水環境の保全を図る上で、国際的にも広く認識されている一方、このたびの震災、津波被害の復興では、50人槽の中型浄化槽を中心に被災地の仮設住宅などに付設され、生活排水処理に貢献するなど、災害に即応できることが認識されており社会的な評価を高めました。このように国内外ともに機動力ある浄化槽の出番が期待されていますので、一般廃棄物の適正処理等に携わる皆様の役割はますます重要になるものと思われま

す。当教育センターは、浄化槽に係る教育研究機関として、今日まで、微力ながら浄化槽事業の推進に努めて参りました。今年度は新規の講習会を開催しており、浄化槽の設置工事、維持管理及び清掃について、既に資格を取得している技術者の方々の資質の向上を図りたいと考えております。今後も一層の努力をいたす所存ですので、皆様方におかれましても引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会と会員の皆様の今後ますますのご発展、ご活躍を心からご期待申し上げますとともにご参加の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 全国浄化槽団体連合会

会長 上山 健治郎

貴連合会「第9回全国大会」の開催を、心からお祝い申し上げます。

8年前、貴連合会は、「相互扶助の精神と互いの経営資源の補完」「知性と良心」「自由闊達な建設的議論」「相互の人格と個性の尊重」「民主的運営」等を基本理念として、新たな船出をされました。以来、我が国の健全で恵み豊かな生活環境の確保と、公衆衛生の向上に大きく貢献してこられました。今年も、全国の一般廃棄物処理業者が一堂に会され、新たに「まちにひとに健全な水循環を！」をテーマに、循環型社会づくりを実現するための決意を表明されております。

21世紀、「水資源の確保」は、日本の国家戦略の一つと言うべきもので、また、「環境保全上も健全な水循環を構築するためには、浄化槽の果たす役割が大きい」ことを考えますと、今大会のテーマもまた誠に時宜を得たものと、深く敬意を表するものであります。

さて、台所やトイレの生活排水の処理を必要としている人たちが、全国では1,800万人以上いらっしゃいます。一昨年、政府・行政刷新会議の「事業仕分け」において、国民経済的にも市町村財政的にも、「浄化槽と下水道とのコストを比較した上で、施設を整備すべきである」との数多くの意見が出されました。それらも踏まえて全浄連では、「今後、取り組むべき浄化槽整備事業に係わる四つの重要課題」として、「浄化槽整備区域の拡大」「単独から合併処理浄化槽への転換を早急に図るための法改正と、経費は公費負担とする制度の創設等、助成制度の抜本的見直し」「浄化槽の維持管理費に対する助成制度の創設」「浄化槽整備事業の助成率の1/2への拡充」の4点を強く要望し、全国展開を図っております。

今年3月に東日本大震災が発生しました。未曾有の被災に対する貴連合会皆様の迅速な行動に心からの敬意を表します。全浄連も、被災地の会員団体に見舞金、被災地に義援金等による支援を行ないましたが、加えて「東日本大震災により被災した保証登録浄化槽を今後も使用し続ける利用者を支援」するため、「保証制度基金特別会計からの特別支出」を行なうことと致しました。

さらに、全浄連では、今般、「東日本大震災の復興に向けての提言『復興事業における新しいまちづくりは浄化槽で整備』」を作成致しました。本提言は、被災県市町村に対して、「新しいまちづくりは浄化槽で整備」することが早期の復旧復興や地域の環境を守る意味でも、県市町村の財政問題からも肝要であることを訴えているものであります。

末永い日本の繁栄を築くこと、身近な美しい水環境を守ることは、私達に課せられた永遠の責務です。全浄連は、後世に評価される行動をしていくことを肝に銘じ、その実現に皆様と共に手を携えて努力してまいりたい決意であります。

最後になりましたが、貴連合会と会員の皆様の益々のご発展とご活躍を祈念し、お祝いの言葉と致します。

第9回 全国環境連全国大会

大会の目的

我々一般廃棄物処理業者は、市町村の自治事務の代行者として、廃棄物処理事業が開始されたときから今日まで、適正な廃棄物処理を通じて、わが国の良質な水環境の確保及び公衆衛生の向上に寄与してきたところである。

しかし、その傍ら下水道の整備が進む中、業界の取り巻く厳しい経営環境は、年々その度合いを強めている。

そのため「合特法」の趣旨を踏まえた転換（支援）業務（補償）の獲得が、今や緊急の課題となっていることはいうまでもない。

我々は、今後も絶え間ないイノベーション（技術革新）で、業界の未来は開かれるという信念のもと、創造性を備えた先進的なリサイクル等の技術開発に努めていくことが強く求められている。

その上で、企業の社会的責任（CSR）の視点から業界全体での思いきった意識改革に取り組み、新たな価値観を迫及することが必要である。

また、今世紀は環境の世紀と言われ、多くの人々が昨今、「ロハス」（健康で持続可能なライフスタイル）を生活信条として求めている。この生活様式の維持には必要不可欠な要素の一つとして清潔な水の存在が挙げられる。

我々は汚水処理に携わる者として、地域住民に健全で持続可能な水循環を確保するため、一丸となって取り組んでいかなければならない。

本大会は「まちにひとに健全な水循環を！」をテーマに全国の一般廃棄物処理業者が一堂に会し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を積極的に推進し、国・地方及び関係業界が協働して、循環型の社会づくりを目指し、実現するための我々の強い決意をここに表明するものである。

講 演

13:30~15:30 (2階 平安の間) 【受付 12:30 より】

講 演 I 13:30~14:30

演 題

「世界のトイレ—インドネシアを中心としたアジア諸国の例—」

講 師：環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課 浄化槽推進室長

藤 塚 哲 朗 氏

----- 講師のプロフィール -----

岐阜大学大学院修了後、建設省入省。外務省、環境庁(省)を経て、JICA国際協力機構専門家(インドネシア環境省派遣)、平成20年から兵庫県環境農政部(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN))勤務の後、平成23年7月から環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 浄化槽推進室長。

講 演 II 14:30~15:30

演 題

「日本とアジアの水問題」

講 師：有限会社 宇部環境リサーチ代表取締役
NPO法人 国際環境支援ステーション理事長

脇 坂 宣 尚 氏

----- 講師のプロフィール -----

昭和38年4月から平成5年3月まで宇部短期大学環境衛生科教授。平成5年4月から平成14年3月まで香川学園環境技術センター所長。現在(有)宇部環境リサーチ代表の他に、中国・山東大学客員教授、NPO法人国際環境支援ステーション理事長として国内、国外で環境保全活動を行っている。

大会式典

15：50～16：50（2階 平安の間）

1. 開 会 の 辞
2. 物 故 者 に 対 す る 黙 禱
3. 大 会 式 辞
4. 優 良 役 員 ・ 従 業 員 表 彰
5. 受 賞 者 代 表 謝 辞
6. 政 府 に 対 す る 要 望 決 議
7. 大 会 ス ロ ー ガ ン
8. 大 会 宣 言
9. 来 賓 祝 辞
10. 祝 電 披 露
11. 閉 会 の 辞

政府に対する要望決議

私達、一般廃棄物処理業者は今日まで、市町村の自治事務の代行者として長年ただひたすらに、廃棄物の適正処理に取り組み、我が国の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に重要な役割を果たしてきました。

しかしながら近年、下水道の整備普及による業界の業務は、目に見えて先細りの一途をたどり、経営圧迫による危機感を抱いております。そのため私達は「合特法」に基づいて転換業務（補償）獲得を市町村に要求していくものであります。

そのうえで、経営の安定を維持し、廃棄物の適正処理を全うし循環型の社会づくりの実現を図って参りたいと存じます。つきましては、何卒、下記の事項について特段の措置を講じられますよう切に要望するものであります。

記

1. 下水道の整備により影響を受ける一般廃棄物処理業者等に対して、安定かつ継続する業務を保障する観点から「合特法」に基づく合理化事業計画の策定を行い、それを実行に移すことにより、転換業務（補償）の獲得またPFI事業による浄化槽市町村整備推進事業の維持管理については「合特法」の趣旨に沿い市町村において適切な対策が講じられるよう指導されたいこと。
2. 浄化槽の維持管理に係る指定管理者制度の運用については、浄化槽の保守点検及び清掃を適切に実施し、浄化槽の正常な機能が確保されるよう、業者の選定等に関して、地方自治体に対して指導の徹底を図られたいこと。
3. 政府は、平成22年6月「新成長戦略」を閣議決定し研究開発投資の充実を図ることとした。そこで、技術革新の可能性のある浄化槽の分野についても、浄化槽の最適な維持管理システムの構築や浄化槽汚泥の活用などの課題に着目し、イノベーション（技術革新）創出を導き出す研究開発を重点的に推進するための措置を講じられたいこと。
4. 汚水処理施設の整備（下水道、浄化槽、農漁集排、汚泥再生処理センター）については、地方公共団体の財政が逼迫していることから、人口減少を考慮した経済的、効率的な整備が推進されるよう指導されたいこと。
5. デイスポーターの普及に伴い、水質保全の観点から、その排水処理システムの確立及び維持管理については速やかに法体系の整備を図られたいこと。
6. 一般廃棄物処理計画に基づき、一般廃棄物の適正な処理が確保されている場合には、新たな業の許可はいたずらに過当競争等を招き、ひいては適正な処理が困難となるおそれが高いため、既存の適正規模の処理施設や体制を維持するよう地方自治体に対して指導の徹底を図られたいこと。

第9回全国環境連 全国大会スローガン

1. 下水道整備の進捗に伴う転換業務（補償）獲得
1. 不法・不当な新規許可の絶対反対と委託・許可制度の適正な運用
1. 生活排水対策に優れた浄化槽の適正な維持管理（保守点検・清掃・法定検査）の確立・徹底
1. イノベーション（技術革新）による事業の安定的発展と循環型社会づくりを実現するため3R活動の一層の推進
1. 情報収集システムの運用と情報提供の充実強化
1. 組織の充実強化と次世代を担う人材の育成
1. 労働災害ゼロの徹底と福利厚生の実現

大会宣言

我々一般廃棄物処理業者は、市町村の自治事務の代行者として、廃棄物処理事業が開始されたときから今日まで、適正な廃棄物処理を通じて、わが国の良質な水環境の確保及び公衆衛生の向上に寄与してきたところである。

しかし、その傍ら下水道の整備が進む中、業界の取り巻く厳しい環境は、年々その度合いを強めている。

そのため、「合特法」の趣旨を踏まえた転換（支援）業務（補償）の獲得が、今や緊急の課題となっていることはいうまでもない。

我々は、今後も絶え間ないイノベーション（技術革新）で、業界の未来は開かれるという信念のもと、創造性を備えた先進的なリサイクル等の技術開発に努めていく。

その上で、企業の社会的責任（CSR）の視点から業界全体での思いきった意識改革に取り組み、新たな価値観を迫及することが必要である。

また、今世紀は環境の世紀と言われ、多くの人々が昨今、「ロハス」（健康で持続可能なライフスタイル）を生活信条として求めている。この生活様式の維持には必要不可欠な要素の一つとして清潔な水の存在が挙げられる。

我々は汚水処理に携わる者として、地域住民に健全で持続可能な水循環を確保するため、一丸となって取り組んでいかなければならない。

本大会は「まちにひとに健全な水循環を！」をテーマに全国の一般廃棄物処理業者が一堂に会し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を積極的に推進し、国・地方及び関係業界が協働して、循環型の社会づくりを目指すものである。

さらに、私たちは組織拡大を図りながら強固な団結と協調のもと全国環境連の基本理念を実現することを誓うものである。

以上 宣言する。

平成23年10月28日

第 9 回
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
全 国 大 会

大会懇親会

17:30~19:30 (2階 平安の間)

1. 開 会 の 辞
2. 挨 拶
3. 来 賓 祝 辞
4. 来 賓 紹 介
5. 乾 杯
6. 次期開催担当県挨拶
7. 閉 会 の 辞

Master of Magician

上口 龍生によるマジックをお届けいたします。

目の前30cmでの奇跡、クローズアップマジック。軽妙洒脱なトークマジック。高度な技術と激しい動きで繰り広げられるステージマジック。

ラスベガス級とも言えるイリュージョンマジックと、あらゆるマジックに精通した彼は、マスターマジシャンと呼ばれている。

数々の受賞歴の中でも、1994年の日本三大タイトルを総なめにした記録は未だに破られていない。また、デビューとなったシドニーのオペラハウスやハリウッドのマジックキャッスル出演などを通じて、彼独自の日本伝統マジック「胡蝶の舞」は世界的評価を受けている。